



[質問]

3M™ ベアーハガー™ ペーシエントウォーミング モデル775  
本体に他社のブランケット製品を接続することはできますか？

よくある質問 5



[答え]

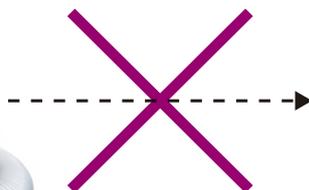
3M™ ベアーハガー™ ペーシエントウォーミングブランケット  
以外は接続しないでください。添付文書の【禁忌・禁止】参照



3M™ ベアーハガー™ ペーシエントウォーミングブランケット以外の接続は  
本来の加温性能が発揮できないだけでなく、不具合の発生や過剰な加温による  
熱傷等の思わぬ健康被害が発生する可能性があります。



3M™ ベアーハガー™  
ペーシエントウォーミング  
モデル775

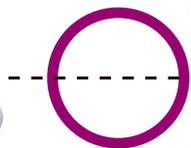


他社の  
ブランケット製品

モデル775本体には、必ず、専用の  
3M™ ベアーハガー™ ペーシエントウォーミングブランケット  
を接続し加温してください。



3M™ ベアーハガー™  
ペーシエントウォーミング モデル775



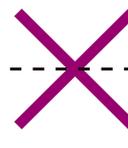
3M™ ベアーハガー™  
ペーシエントウォーミングブランケット

**その他注意事項**

3M™ ベアーハガー™ ペーシエントウォーミングブランケットは、単回使用になります。  
再利用はしないでください。感染のリスクのみでなく、ホース挿入口がゆるんで、  
事故につながる場合があります。

同様に他社の加温装置を、  
3M™ ベアーハガー™ ペーシエントウォーミングブランケット  
の加温に使用しないでください。

他社の  
温風式加温装置



3M™ ベアーハガー™  
ペーシエントウォーミングブランケット

**警告**

1. 使用時には必ず指定のエアパッド特定加温装置コントロールユニットのエアホースをウォーミングブランケットに接続すること。  
[エアホースのみによる加温は、熱傷を引き起こすため。]
2. ウォーミングブランケットは、孔の開いている側を患者の体表面に向けて使用すること。[熱傷を引き起こすことがあるため。]
3. 加温中は、患者の体にエアホースが触れないようにすること。[加温中はエアホース全体が高温になり、接触していると熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
4. ウォーミングブランケットと患者の間にシーツを敷かないこと。[加温性能および安全性に影響するため。]
5. 温度上昇警報ランプが表示され、アラームが鳴った場合は、直ちに使用を中止すること。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
6. 患者の体温・皮膚の状態を10～20分おきにモニタすること。バイタルサインに異常または不安定な状態が見られた場合は、直ちに使用を中止すること。
7. 正常体温に回復したり、バイタルサインが不安定になった場合は、設定温度を下げるか、または使用を中止すること。
8. 患者が下記の状態にある場合は、細心の注意を払い、絶えずモニタすること。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]  
●閉塞性または糖尿病性の著しい末梢血管障害の患者 ●低心拍出量の患者 ●血流状態が悪い患者

**禁忌・禁止**

1. 再使用禁止
2. 大動脈クランプなどで、四肢の血管が遮断され、虚血状態になっている部位には使用しないこと。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
3. 本品は、適用機種以外には接続しないこと。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。また、本来の性能を損なうおそれがあるため。]

3M、Bair Hugger、ベアーハガーは、3M社の商標です。

2017年4月発行

スリーエム ジャパン株式会社  
ヘルスケアカンパニー

感染管理製品事業部

<http://www.mmm.co.jp/hc/medical/>

Please Recycle. Printed in Japan.  
© 3M 2017. All Rights Reserved.  
HPM-646-B(041710)TP

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

**0570-011-321**

8:45～17:15 / 月～金 (土日祝年末年始は除く)  
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます